

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名		部名	健康福祉部
	04006-1	救急医療対策費		室名	長寿健康づくり室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造		財	会計 一般会計
	基本施策	02:地域医療の充実		務	款 衛生費
	施策の方向	01:地域医療体制の構築		科	項 保健衛生費
戦略プロジェクト			目	目 保健衛生総務費	

②目的・概要	対象	市民、医療機関	
	目的	市内の救急医療体制を確保し、市民の暮らしの安心・安全を守るための1次救急医療及び救急医療に関する啓発等の事業を実施する。	
	概要	1次救急医療として、夜間時間外応急診療及び休日当番医、年末年始当番(歯科含む)を実施するとともに、救急医療に関する啓発として、救急週間記念行事等を実施する。	

			27年度	28年度	
③指標	①	名称	一次救急医療の実施	計画値	
		補足	1次救急を市内医療機関に委託し、夜間時間外応急診療及び休日当番医、年末年始当番医(歯科含む)として実施する。	実績値	実施 実施
			単位		
	②	名称	1次及び2次救急医療体制の実施日数	計画値	
		補足	年間を通じて1次及び2次の救急医療体制を確保する日数。	実績値	366 365
				単位	日 日
③	名称		計画値		
	補足		実績値		
			単位		

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績					1次救急医療として、夜間時間外応急診療及び休日当番医、年末年始当番(歯科含む)を実施した。 また、救急医療に関する啓発活動として、救急医療週間にあわせ救急医療市民講座(9月8日)を開催した。			
					()は平成28年度受診者数			
					・夜間時間外:月~土(年末年始、祝日除く)19時30分~22時 (288人)			
					・日曜祝日13時~19時30分 (580人)			
					・年末年始(12/29~1/3)9時30分~16時30分 (439人)			
					・年末年始歯科(12/30.31、1/2.3)9時~11時 (12人)			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	952	
		事業費		15,332	14,261	一般職員人件費 ②	952	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③	0.13	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
地方債					受益者負担額 ⑤			
その他					受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
一般財源			15,332	14,261				
再掲		翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額							
	総人件費		①	952				
	総コスト		⑥	15,213				

⑤事業の評価	【事業の成果】	1次救急については、亀山医師会や市内内科系医師に業務を委託することにより、市民の暮らしの安心・安全につながった。 また、消防救急室との連携を強化し、広報を通じた救急車の適正利用等の周知や街頭での啓発活動に加え、救急医療市民講座において、消防救急の現状や救急隊活動の訓練デモンストレーションを行い、市民への情報提供を年間を通して実施した。	総合判定
	【反省点・課題】	市内で対応が困難な小児の1次救急については、鈴鹿市の応急診療所を利用しているが、受診時における事前連絡等が無いケースが見られることから、継続的な周知活動が必要である。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	小児の1次救急については、主に救急医療情報センターが行っているが、鈴鹿市の応急診療所を紹介する場合や本人が受診を希望する場合には、診療所に対しての事前連絡を徹底する。 また、救急車の適正利用や救急医療に関する啓発活動については、消防救急室と連携を図りながら、広報媒体や機会を捉え、継続的な周知活動を行う。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 小森 達也